

平成30年度 六郷小学校学校評価(前期) 結果・成果・課題・改善方法及び学校関係者の意見

評価目標指数(A+B=80%以上) ○:80%以上 ▲:80%未満 A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまり思わない D:思わない

項目	主な具体策	評価の観点		保護者		児童		教職員		成果(○)と課題(▲)・改善方法(☆)	学校関係者評価委員会から (課題事項について)
				A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価		
1【知】 確かな学力の育成ー主体的・対話的に学習し深く学ぶ子の育成に努めますー	○基礎基本の確実な定着 ○自ら学び自ら考える力の育成 【数値目標】 (1)学年×10分+10分の家庭学習に取り組む児童の割合 80% (2)漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者 80% (3)県学力診断のためのテストで前年比の合計 +5点	漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者は80%以上となるように指導している。	99.0%	○	86.0%	○	71.0%	▲	▲漢字力・計算力テストは、1学期の漢字力合格点(80%)取得者の割合が87.3%、計算力は78.2%であり、計算力は数値目標に至らなかった。 ▲主体的な授業については、児童の評価が高い反面、保護者は十分ではないと考えている。教職員は、主体的な学びを引き出す授業改善の研修途中であるためと考える。 ▲家庭学習については、児童は取り組んでいると考えているが、その内容と質が実質を伴っていないと教師・保護者は捉えている。 ☆個別指導を充実し、補充学習時のTTの人数配置を工夫する。中高生・地域ボランティア等の人的資源を有効活用する。 ☆家庭学習を、児童の良い点を伝えるなど保護者との連携を密にし、児童が自ら学ぶ意欲を引き出す。 ☆「家庭学習の手引き」「家庭学習123」を児童と教師、保護者と共有し、家庭学習のグッドモデルを提示し定着を図る。	・教員の前期自己評価が低いのは、向上心の表れで普通のことだ。授業改善を重ねているようなので、後期の結果を楽しみにしている。 ・毎月の漢字力計算力テストの1学期と比較すると、9月漢字力95%(+約8%)、計算力85%(+約7%)向上している。保護者アンケート質問時にも、児童の現状が分かるデータを示すと、保護者に伝わるのではないかと、本は子育ての最強アイテム。読み聞かせ、家読は効果的なので、家庭で実践してほしい。 ・書くことは、親子の一行交換日記がよいのでは。その際、鼓舞激励はせず、子どもの気持ちに寄り添うよう返すと長続きするようだ。	
		児童の主体的な学びを引き出す授業づくりを心がけている。	71.0%	▲	88.0%	○	75.0%	▲			
		家庭学習(宿題含む)を「学年×10分+10分以上80%」となるように、指導したり励ましたりしている。	75.0%	▲	90.0%	○	78.0%	▲			
2【徳】 豊かな心の育成ー友達と協働し、心豊かに生活する子の育成に努めますー	○基本的な生活習慣の徹底 ○「考え、議論する道徳」の実施 【数値目標】 (1)学校が好きな児童 90% (2)体験活動・交流活動の満足度 90% (3)「みんなにすすめたい一冊の本」県教育長賞受賞者 90%	気持ちのよい元気なあいさつ・大きな返事の指導と共に率先垂範している。	82.0%	○	95.0%	○	91.0%	○	○あいさつ・返事については、教師が率先垂範意識して指導していることで、児童・保護者の評価も良好である。 ○安心してできる学校生活については、児童、教師、保護者ともに評価が高く、学校での児童の良好な人間関係を表している。また、学級の温かな居場所づくりの工夫も高評価につながっている。 ○体験活動の充実・満足度は、児童が活動に熱心に取り組み、保護者も評価している。学校行事や児童集会の充実度を表している。 ○豊かな心の育成への取組は、定期的な異学年縦割り班活動(給食・清掃・共遊)・心を磨く読書活動(朝読書・児童による読み聞かせ・本の木)などの本校独自の取組が高く評価されている。(1学期:学校が好きな児童93%) ☆児童が安心して学校生活が送れる環境は今後も維持する。いじめ0集会、いじめチェックの活用、教育相談体制の充実を図っていく。	・児童の評価が高いのは、自己肯定感が高いということだろう。学校生活に満足している様子だ。 ・あいさつは大人になるとしなくなる傾向があるので、継続し定着させるために地域の大人が率先垂範したい。 ・今の子どもは放課後に異学年で遊ばない。子どもたちの人間関係づくりのために、縦割り班活動(ふれあいタイム)で給食や清掃、共遊を実施しているとのことだが、地区の繋がりを大切にするためにも、登校班で活動する場を設定してもよいのではと思う。	
		安心して楽しく、良好な人間関係で学校生活を送ることができるように生徒指導の充実にも努めている。	94.0%	○	93.0%	○	91.0%	○			
		各種体験活動・交流活動・学校行事の活動では、一人一人がよさを発揮し成功体験や満足度を充実させ、次の活動に生かすための指導にも努めている。	94.0%	○	92.0%	○	90.0%	○			
3【体】 健やかな体の育成ー明るく健康で、活力ある子の育成に努めますー	○健康で安全な生活習慣の徹底 ○体力の向上と健康教育の推進 【数値目標】 (1)危機回避の行動がとれる児童 90% (2)体力テスト総合評価A+Bの割合 60%	歯磨きタイム等の健康な生活習慣・病気の予防等の健康教育の指導をしている。	83.0%	○	90.0%	○	100.0%	○	○健康教育は、歯磨きタイムの取組等が評価されている。 ○安全は、避難訓練での対応行動や毎日の安全な登下校ができていて、保護者も学校と協働した安全指導も評価している。 ▲体力向上への取組は、教師、保護者の評価が低かったが、H30度体力テストの結果はA+B69%(昨年度58.9)であり+10.1と大きく向上したことから、一定の成果はあると考える。 ▲歯磨き・早寝・早起きは、学年差が見られた。育児の手が離れ始める中学年以上の児童は、寝る時間等の生活習慣が乱れる傾向がある。 ☆体力テスト結果は、学校だよりで具体的な数値を示して情報提供をする。 ☆児童の生活習慣について懇談会及び保健だより等で取り上げる。学校保健安全委員会や学校区・歯科医・薬剤師、専門講師の講話を聞く機会を今後も設定する。	・体力テストのデータが大きく改善した。数値とともに、効果があったと考えられる「リチャル投げ」(体育委員会児童が休みに開催)、10分間走等の様子を保護者にもぜひ伝えてほしい。 ・早寝早起きは、親の目が離れる高学年になるほどできなくなる。子どもに「早く寝なさい」と言うだけではなく、一緒に寝ながら、話をしたり本を読んだりして親子の時間を楽しくしてほしい。子どもは愛されて育つと、大人になっても親子の会話が成り立つようだ。	
		運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動量を確保した体育学習を工夫し、体力の向上に努めている。	73.0%	▲	86.0%	○	71.0%	▲			
		安全(生活・交通・災害)について計画的・継続的に指導し、危機回避の行動がとれる児童の育成に努めている。	87.0%	○	99.0%	○	91.0%	○			
4 信頼と協働で結ばれた地域とともにある学校づくり	○各種たより・学校HPによる学校情報の積極的発信 ○授業参観の地域への公開・公民館との合同運動会の実施 ○保護者・地域との連携による登下校の見守り・安全パトロール 【数値目標】 学校HPの授業日の更新率 90%	学校・学年・保健だより等を発行(毎月1回)したり、学校ホームページに掲載(授業日の更新率90%)したりして、教育活動の情報を提供している。	96.0%	○			70.0%	▲	○学校HPは、毎日更新されていることが高評価につながった。(1学期の記事掲載数517件、アクセス数毎月約4000件) ○児童の見守りは、教師、保護者ともに非常に高い評価だった。毎日の保護者・地域との連携した交通安全指導の取組が広く認識されている。 ○いじめ未然防止・早期発見の取組も高評価だった。いじめ0集会の実施や教育相談体制の充実・定期的なスクリーニング会議の実施などの学校の取組の効果が現れている。 ▲☆ホームページ更新の学年間の差をなくすために、教員相互で支え合う協働体制を発揮する。 ☆いじめ防止に対する取組は、1学期にいじめ0集会後に全校児童が各自で「いじめ0宣言」を考え、2学期の第2回集会後にいじめ0人権カレンダー一掲載用の「親子で考えるいじめ0標語」の募集を行う。今後も主体的な実践力を育成するための各種体験活動を継続する。	・狭い農道を移動するトラクターを、スピードを上げて追い抜く中学生がいて危険だ。自分の身を守る行為、自転車の安全な乗り方の指導を小中学校で連携して継続してほしい。 ・学校教育活動を広く紹介し理解と協力を得るために、学校ホームページの更新に力を入れてのこと。(掲載記事:毎月130件以上アクセス数:9月6000件以上、10月8200件以上)今後も親子で見て、会話のツールにしてほしい。 ・六郷地区は、地域・家庭・保護者の協力により登下校の見守りやパトロールを実施しており、危険箇所もあまりなくよいと思う。	
		保護者や地域住民と連携・協働して各種行事・登下校の見守り・安全パトロール等に取り組んでいる。	97.0%	○			100.0%	○			
		本校いじめ防止基本方針を理解し、いじめの未然防止・早期対応に組織として取り組んでいる。	90.0%	○			100.0%	○			

保護者回答率 97% 内訳:1年生(100%・11/11人) 2年生(100%・15/15人) 3年生(100%・10/10人) 4年生(100%・26/26人) 5年生(86%・19/22人) 6年生(100%・16/16人)